

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス夢の地図		公表日		2025年 2月 12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	支援スペースが広くなるように机などの配置を工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		曜日によっては送迎時の人出が少ない。増員も検討していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	6		視覚的に情報が多く入ってくる印象。玄関前の階段で必要に応じて介助が必要。視覚に過敏な子に対してはパーテーションなどを使用を検討する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	個別に部屋を変えたりをする必要がある子に対して対応している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	評価表の会議を行い結果、対策を情報共有している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	日々の会議で話し合い子どもの問題点、対応策を検討している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		現在行っていないが外部からの意見、評価を行えるようにしたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	研修計画書、議事録、マニュアルの周知を行う。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	ホームページに支援プログラムの公表を行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	会議で情報共有しアセスメントを行い計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	会議で情報共有しアセスメントを行い計画を作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	個別支援計画はパソコンや紙ファイルでもスタッフが確認できるようにしている。会議で計画の評価を行いスタッフ間で周知している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	適応行動の状況は話し合いで情報共有している。会議にて情報共有しアセスメントを行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2	会議の中で情報共有しアセスメントしている。支援内容も定期的に評価し検討、変更している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	日々の会議で話し合い子どもの問題点、対応策を検討している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	日々の会議で児童に合わせてルールを変えたり固定しないように工夫している。	幅広く意見を出し合い認め合える場が必要。	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	日々の会議で個別の対応、活動を検討し集団活動の内容も別に検討している。	個別活動が偶発的であり実施すべき。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	日々の会議で検討し職員間で役割分担している。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	支援終了時に振り返りをおこない集団活動などの改善点も検討している。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	ケース記録で支援の振り返り、問題点を検証し日々の話し合いでも情報共有し活動に活かしている。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2	計画に沿ってモニタリングを行っている。その都度計画の見直しを検討している。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1	(①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供。) 集団活動、生活訓練など日々の会議で検討し活動に取り入れている。	地域交流がなかなか難しい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	自分で選択できる環境を作っている。子供たちの中でも話し合いをして意見が言えるように促している。	自己選択できるための支援マインドが必要。
26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		会議では事業所の管理者や相談支援専門員など理解している者で会議に参加している。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	役所の児童支援課や相談支援専門員、訪問看護など担当者で連携して情報交換して支援している。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		児童の様子を学校の先生と普段の様子を情報共有している。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	就学前の様子を保育園で作って頂いた書類を情報共有しアセスメントに活動している。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	利用していた時の様子や課題を次の障害福祉施設へ情報提供を行っている。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	今後助言が受けられる研修や機会を設けたい。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	外出先での公園、施設で他の子と交流している。	
33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		6	地域の会議には参加できていない。機会があれば参加したい。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	連絡帳や送迎時、ラインワークスを利用し日々の様子を共有している。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7	必要に応じて家族で参加できる活動、研修を今後検討していきたい。	家族参加の利用、計画と実行が必要。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に書面で説明している。不明点などあればその都度説明している。	管理者が行っている。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	保護者や児童の意向を確認し個別支援計画に検討している。その都度説明や不明点の確認をしている。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		書面で計画の説明と同意を得ている。担当者会議などでも日々の様子を説明している。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2	保護者から相談があったことなどは日々の会議で検討し相談に応えられるようにしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	コロナ禍もあり行っていなかったが今後は検討していきたい。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		保護者からの連絡があった時や子供の様子など情報共有し迅速に対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	連絡帳やホームページやSNSで活動内容や保護者に日々の様子が伝えられるようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		連絡帳などはシステムでパスワード管理している。大事な書類は鍵付きの所で管理している。SNSには利用者の顔や名前が出ないように注意している。	
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		利用者に対しては希望の連絡方法、コミュニケーション方法に注意している。日々と月末にも様子をお知らせしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	現在は行ってないが今後検討していきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	マニュアルの策定をして定期的に見直しや周知を会議している。訓練を行ったら保護者に連絡帳で様子をお知らせしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	BCPを策定し計画に沿った研修を行っている。	定期的な研修が必要。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	最初の時点で内服や既往歴に関しては聞き取りで記入している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		該当者がいれば医師の指示に基づいて対応する。	アレルギーの情報を掲示して職員に周知するべき。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	送迎時のマニュアルや外出時のマニュアルを策定し研修を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4	保護者にマニュアルの説明などを徹底していく	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2	ヒヤリハットが出た時の対策を今後もしていく。	口頭だけでなく書面で情報共有が必要。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2	計画に沿った研修を今後も継続していく。	DVだけでなくネグレクトなどの虐待にも気をつける。研修も必要。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	拘束が必要な場合は保護者に説明をして了承を得たうえで計画に記載する。		